

みんなで考えよう 地域で取り組む防災・避難



～東日本大震災・熊本震災から学ぶ～



「被災障害者支援認定NPO法人ゆめ風基金」とは

1995年2月の阪神淡路大震災時の障害者支援活動をきっかけにして結成された団体です。

以降、各地で自然災害における被災障害者の支援活動に取り組んでいます。

呼びかけ人として、小室等（代表）、永六輔（故）など著名人も多数協力しています。

所在地：大阪市東淀川区東中島1-13-4 3-106

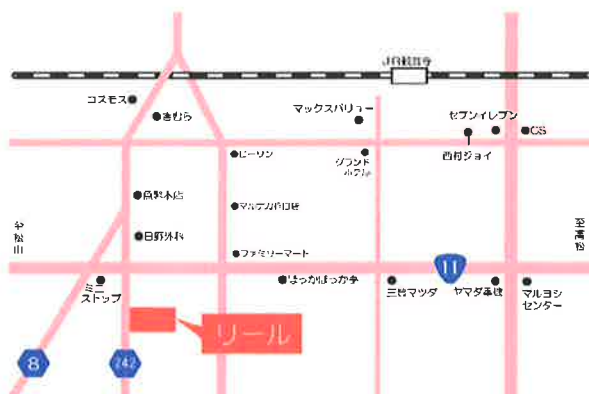
<http://yumekaze.in.coocan.jp/>



阪神淡路大震災が起きて20年が過ぎ、この間各地で様々な大規模災害が発生しています。そのたびに「障害者が避難所にいけない、いられない」状況が起きています。

今後、香川災害が起きた場合に、災害弱者といわれる、高齢者や障害者が避難所にいけない、いることが出来ない環境のまままでいいのでしょうか。

今年度、4回に分けての講演会やワークショップ、避難訓練を行い、障害者や高齢者の避難のみならず、みんなが避難所すべきことを学び、すべての人にとって「安全で、平等な避難」について考えていきます。



▶ アクセスマップ

第一回 講演 「災害時のすべしやるニーズについて～これまでとこれからを考える～」

講師 被災障害者支援認定NPO法人ゆめ風基金

理事・事務局長 八幡 隆司氏

2018年 4月28日（土） 13:00～16:00

第二回 ワークショップ

2018年 7月28日（土） 13:00～15:00

第三回 ワークショップ

2018年11月24日（土） 13:00～15:00

第四回 避難訓練

2018年 1月26日（土） 13:00～16:00

ところ：社会福祉法人ラーフ リール 二階多目的ホール（観音寺市柞田町丙1060番2）

参加費：資料代として500円 お問い合わせ：社会福祉法人ラーフ リール

0875-82-9520 担当：中野